

令和元年度東京都教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成30年度分)の概要

I 点検及び評価の根拠と方針

1 根拠法令 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（中略）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 東京都教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価の実施方針

(1) 点検・評価の目的

○毎年度主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

○点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することにより、都民への説明責任を果たし、都民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 点検及び評価の対象

○「東京都教育委員会の主要施策」を対象とする。

(3) 点検及び評価の実施方法

○点検

個々の施策及び事業のこれまでの取組状況や成果について取りまとめる。

○評価

個々の施策及び事業についての点検を踏まえ、課題を検討するとともに、今後の取組の方向性を示す。

○有識者会議の設置

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者会議」を置く。

(平成20年6月12日 第10回東京都教育委員会決定)

3 有識者（平成29年度委嘱）

玉川大学芸術学部	教授	大西 珠枝
東京工業大学学術国際情報センター	教授	山口しのぶ
東京商工会議所	理事・事務局長	小林 治彦（敬称略）

II 点検及び評価の対象

東京都教育ビジョン（第3次・一部改定）に基づく平成30年度主要施策

①「知」＜方向1：個々の子供に応じたきめ細かい教育の充実 方向2：世界で活躍できる人材の育成＞

○基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上 ○理数教育の充実

○「使える英語」を習得させる実践的教育の推進 ○豊かな国際感覚を醸成する取組の推進

○日本人としての自覚と誇りの涵養

②「徳」＜方向3：社会的自立を促す教育の推進 方向4：子供たちの健全な心を育む取組＞

○人権教育の推進 ○道徳心や社会性を身に付ける教育の推進

○社会的・職業的自立を図る教育の推進 ○不登校・中途退学対策

○子供たち一人一人に応じた手厚い支援体制の構築

○いじめ、暴力行為、自殺等防止対策の強化 ○SNS等の適正な使い方の啓発強化

③「体」＜方向5：体を鍛え健康に生活する力を培う＞

○体力向上を図る取組の推進 ○健康づくりの推進

④「オリンピック・パラリンピック教育」＜方向6：オリンピック・パラリンピック教育の推進＞

○オリンピック・パラリンピック教育の推進

⑤「学校」＜方向7：教員の資質・能力を高める 方向8：質の高い教育環境を整える＞

○優秀な教員志望者の養成と確保 ○現職教員の資質・能力の向上

○優秀な管理職等の確保と育成 ○都立高校改革の着実な推進 ○特別支援教育の着実な推進

○学校運営力の向上 ○学校の教育環境整備

⑥「家庭」＜方向9：家庭の教育力向上を図る＞

○家庭教育を担う保護者への支援体制の充実 ○学校と家庭が一体となった教育活動の充実

⑦「地域・社会」＜方向10：地域・社会の教育力向上を図る＞

○地域等の外部人材を活用した教育の推進 ○学校と地域社会が連携した教育活動の充実

III 点検及び評価に関する有識者会議

1 第1回 有識者会議

開催日時：令和元年5月13日（月）、同月14日（火）及び同月16日（木） ※個別開催

場所：東京商工会議所（13日）、玉川大学（14日）、東京工業大学（16日）

2 第2回 有識者会議

開催日時：令和元年7月2日（火）午前10時00分から午前11時30分まで

開催場所：東京都庁第一本庁舎37階北側 教育委員会室

出席者：教育監、都立学校教育部長、地域教育支援部長、指導部長、人事部長、福利厚生部長、教育政策担当部長、企画調整担当部長、教育改革推進担当部長、特別支援教育推進担当部長、人事企画担当部長、指導企画課長

IV 有識者からの主な意見

1 第1回 有識者会議における主な意見

- ・経年で評価の分析を行うようにすることは良い。
- ・アウトカムのためにひと手間を掛けて、事業を実施した結果、何が変わったのかということを示す必要がある。
- ・現在はサービスが複雑で細かいので、昔のようにアウトプットで単純に成果が見えるものばかりではないが、一方でEBPMについては議会も含め、世の中が求めているので、早く手法を切り替えていかなければ追いつかなくなってしまう。
- ・エビデンスベースでの数値目標に対して、「できていない部分を今後どうしていくか」、また「できている部分を今後どう伸ばすか」ということが重要である。
- ・良い結果が出ているのに、なぜこうなったかがよく伝わってこない項目があり、残念である。

2 第2回 有識者会議における主な意見

(1) 主要施策全般について

- ・評価項目は、「知・徳・体」を中心に学校、家庭、地域社会に関連する項目を多角的に取り入れており、21世紀を生き抜く児童・生徒の教育を目指す包括的な点検・評価の取組となっている点が評価できる。
- ・今後ますます重要視されると考えられる情報技術やAIに関する取組、世界で活躍できる人材育成と関連して説明されている点も評価できる。
- ・様々な取組やビジョンを東京都の教育方針としてどのように積極的に情報発信していくかが、これからの課題である。
- ・生涯にわたり学び続けることを支援する視点からも施策を推進してほしい。
- ・学校における働き方改革への具体的対応として、副校長の負担軽減、スクールサポートスタッフ配置、部活動指導員などの取組は重要であり、更に業務改善を進めてほしい。
- ・事業を全て同じレベルで点検するのは厳しいものがあるため、新設された事業や重点事業、予算の多寡等をベースにある程度メリハリをつけることも検討いただきたい。
- ・点検・評価を行う上で、各事業に予算がいくら配分され、執行されているのか、費用対効果はどうだったのか、ということも重要な観点である。

(2) 個別の事務事業について

- ・「高等学校における新しい価値を創造する力を育む教育の推進」では、「アクティブ・ラーニング推進校」の学校数が拡大されたという点と、その事例を実践報告会で広く共有していることが評価できる。
- ・「AI時代における教育の推進」では、積極的に75校の推進校が実施されているという点が評価でき、東京都の取組が、より日本を代表する良い事例となるような情報発信が望まれる。

- ・「世界で活躍できる人材の育成」では、「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための研修」において、教員のアンケートで大変ポジティブな結果が出ている点は興味深い。
- ・「教員の資質・能力を高める」では、教員経験に応じた教員研修の評価において、効果測定結果を用いて説明していたという点が評価できる。
- ・やりがいのある仕事をしたいという若者は多いと思うので、教職の厳しさだけでなく、仕事としての教職の魅力の発信をしていただきたい。
- ・特に女性の教員が仕事と家庭とを両立できるための支援や、産休・育休中の教員に対しての支援は、是非効果を上げていただきたい。
- ・防犯カメラをきちんと設置していくこと、スクールバスをしっかりと運行していくこと、特別支援学校等に看護師を配置していくことなどの教育環境の整備や体制の整備は非常に良いことである。
- ・東日本大震災の被災地での「合同防災キャンプ」は、被災地にとっても非常に意味があり、実際に訪問する生徒側にとっても非常に効果があることなので、長く続けていただきたい。
- ・「伝統芸能鑑賞教室」は終了予定であるが、その次へどのようにつないでいくのか、ということを検討し、是非今後につなげていただきたい。
- ・「性教育の手引」の改訂については、価値観の違いが表れるところであるため、現代においてこのようなガイドラインは非常に重要である。
- ・オリンピック・パラリンピック教育の成果・レガシーとして、本当に子供たちや保護者に残っているのか、残っているとすればどういう形が最も効果的だったのか、ということ把握することが重要である。
- ・学力の定着、教科指導の充実により、学力不振による中退者数が大幅に減少しているということで、非常に有用な成果が上がっている。
- ・近年、在留外国人数も増加傾向にあり、その多くが東京都に在住していることも踏まえ、在京外国人生徒の募集枠を引き続き拡大できるよう努めていただきたい。
- ・教育の担い手である教員の人材確保は我が国の将来を左右する重要な課題であり、教育委員会として危機感をもって、教員の働き方改革を確実に進めていただきたい。

(3) 点検・評価の在り方について

- ・教員へのアンケートや生徒へのアンケートなどで意識の変化にフォーカスし、多角的な評価の手法を取り入れているなど、かなり改善がされてきている。
- ・可能な限り、事業ごとに成果指標と目標値を設定していくことが重要である。
- ・施策を企画立案するときから評価方法について検討し、個々のデータの収集に努力していくことで、アウトプットからアウトカムへという評価の改善につながるのではないかと。
- ・現状は単年度の事業内容の記載のみのため、複数年にわたって事業を評価するという観点も必要である。